



# 営農NEWS



## 水稻の斑点米カメムシ防除を徹底しましょう

## 水田周辺は出穂 2 週間前までに除草を行いましょ

茨城県における斑点米カメムシ類の主体はクモヘリカメムシで、水稻の出穂が近づくと本田に侵入します。この他に、ホソハリカメムシ、トゲシラホシカメムシなどが加害しますが、さらに近頃は、昭和時代に発生がみられ、加害能力の高いイネカメムシが、再び増加傾向にあります。また、従来は畦畔にのみ生息していた小型カスミカメムシ類のアカスジカスミカメが、本田でも確認されており、これらの斑点米発生への関与について調査研究が進められています。

県病害虫防除所の「病害虫発生予報 7 月号」によりますと、6 月下旬現在、有効積算温度から予測したクモヘリカメムシの産卵開始時期は、平年よりやや早く、水田付近のイネ科雑草におけるカスミカメムシ類の発生地点およびすくい取り虫数とも平年より多いとのことで、斑点米カメムシ類の発生時期はやや早く、発生量はやや多いと予想しています。

これから、イネ科雑草地や畦畔等で生息しているカメムシ類が、水稻の出穂とともに水田内に移動して穂を吸汁加害します。クモヘリカメムシなどはそこで産卵し、そのふ化した幼虫が成長して更に吸汁加害を繰り返すことで、被害が増加します。水稻の出穂初期の吸汁では、不稔籾となり、激しいと青立ちをおこして著しい減収となります。その後、乳熟期以降に吸汁を受けた籾が斑点米となり、等級落ちの原因となります。

このため、水稻の出穂をむかえるにあたり、**出穂の 2 週間前までには畦畔や水田周辺の除草を必ず行ってください。**なお、**出穂直前の除草は、そこにいるカメムシ類を本田へ追い込んでしまいます。**

出穂後に本田内をよく観察し、カメムシ類が確認されたら、下記を参考に**適期に防除を実施**してください。

### <クモヘリカメムシ>

成虫の体長 16mm くらい、アメンボの様に細く長い体で、体色は全体に淡い緑色、背中（翅）が茶色っぽいカメムシです。成虫は昼間、活発に飛翔しているため、夕方に水田を見回ると見つけることができます。県内の全域に生息しています。

### <イネカメムシ>

成虫の体長 13mm くらい、やや長めの楕円形の様な薄茶色のカメムシです。水田へ侵入後、昼間は株元に潜んで、夕方から吸汁加害を活発に行うため、この時間帯に水田を見回ると見つけることができます。県内では、県南、県央、鹿行地域で発生が増加しています。

### <アカスジカスミカメ>

成虫の体長 5~6mm くらい、体色はやや光沢のある淡い黄緑色、前翅会合部に橙赤色の太い縦条があり、触角や脚も赤い小型のカスミカメムシ類です。全国的に生息し、東北や関西、九州などでは斑点米カメムシの主要種とされていますが、本県における斑点米発生への関与、位置づけについては、現在、試験研究が進められています。

### <薬剤防除のポイント>

1. 本田に侵入したカメムシ類（成虫）を対象とする場合、**防除適期は穂揃期**です。
2. 本田に侵入したカメムシ類が産卵し、そのふ化した幼虫を対象とする場合、**防除適期は出穂 10~15 日後**くらいです。  
なお、その後もカメムシ類の発生を観察しながら、多い場合は薬剤防除を追加し、斑点米発生を減少させましょう。
3. 出穂が周辺よりも早い水田、ヒエ等の雑草が多発している水田では、成虫の飛来が集中しやすい傾向があります。また、出穂の遅い水田では、周辺で増殖した新成虫が侵入してくることがあります。これらの水田では十分な注意が必要です。
4. 防除を行う際には、**収穫前日数などの農薬使用基準に十分に注意**してください。

表 1 水稻 カメムシ類の主な防除薬剤（平成 26 年 7 月 2 日現在）

薬 剤 名	希釈倍数または使用量	使用時期 / 使用回数
MR. ジョーカーEW	2,000 倍	収穫 14 日前まで / 2 回以内
MR. ジョーカー粉剤DL	3~4 kg/10a	収穫 7 日前まで / 2 回以内
スタークル顆粒水溶剤	2,000 倍	収穫 7 日前まで / 3 回以内
スタークル粉剤DL	3 kg/10a	収穫 7 日前まで / 3 回以内
キラップフロアブル	1,000~2,000 倍	収穫 14 日前まで / 2 回以内
キラップ粉剤DL	3~4 kg/10a	収穫 14 日前まで / 2 回以内
スミチオン乳剤	1,000 倍	収穫 21 日前まで / 2 回以内
スミチオン粉剤3DL	3~4 kg/10a	収穫 21 日前まで / 2 回(出穂前は 1 回)以内

注) 各薬剤の液剤または粉剤の、いずれかを使用してください(薬剤の総使用回数に、十分注意してください)。

農薬を使用する際は、ラベルに記載の登録内容、使用法、注意事項などを確認し、飛散に注意して使用して下さい。



生産資材部 営農企画課

電話：029-291-1012 FAX：029-291-1040